



美しいひびき、感動にみちた  
音楽との出会いをお届けします。

エリック・カール  
「うたがみえる きこえるよ」1982年

TM & © 2023 Penguin Random House LLC. All rights reserved.

Rohm Music  
Foundation  
ロームミュージックファンデーション



〈RMF&山田和樹 グローバルプロジェクト〉

OP  
MC

ORCHESTRE  
PHILHARMONIQUE  
DE MONTE-CARLO

KAZUKI YAMADA  
DIRECTEUR ARTISTIQUE ET MUSICAL

Kazuki Yamada, Artistic & Musical Director  
Japan Tour 2024

モンテカルロ・フィルハーモニー管弦楽団

芸術監督兼音楽監督: 山田和樹

2024年 日本公演



Rohm Music  
Foundation  
ロームミュージックファンデーション

ROHM  
SEMICONDUCTOR

©Palais princier de Monaco



ごあいさつ

この度は、「RMF&山田和樹 グローバル プロジェクト 山田和樹指揮  
モンテカルロ・フィルハーモニー管弦楽団」にご来場いただき、誠にありがとうございます。  
ございます。

公益財団法人 ローム ミュージック ファンデーションとローム株式会社は、  
音楽を通して豊かな文化を作ることを目的にさまざまな音楽文化支援活動を  
継続的に実施しており、特に音楽を学ぶ若い人達の環境の充実のための奨学  
援助や学ぶ機会の提供などに力を入れてきました。

このような若手音楽家育成事業に関わり、現在国内外で活躍する音楽家を  
「ローム ミュージック フレンズ」と呼び、山田和樹氏もそのおひとりです。

固定観念に囚われない新たな発想を生み出す山田和樹氏とともに、日本の  
音楽家が今よりも更に世界中で活躍する未来を作るため、このプロジェクトを  
立ち上げました。

山田和樹氏の指揮の下、同じく「ローム ミュージック フレンズ」の藤田真央氏と  
伝統あるモンテカルロ・フィルハーモニー管弦楽団が奏でる音楽をどうぞお楽しみ  
ください。

公益財団法人 ローム ミュージック ファンデーション  
ローム株式会社



# モンテカルロ・フィルハーモニー管弦楽団

芸術監督兼音楽監督: 山田和樹 2024年 日本公演

Monte-Carlo Philharmonic Orchestra  
Kazuki Yamada, Artistic & Musical Director Japan Tour 2024



## 5.27 [月] 19:00 東京 サントリーホール

May 27 Mon. 19:00 Tokyo Suntory Hall

### ベートーヴェン:序曲「コリオラン」 Op.62

L. v. Beethoven: Coriolan Overture, Op. 62

### ベートーヴェン:ピアノ協奏曲第3番 ハ短調 Op.37 [ピアノ:藤田真央]

L. v. Beethoven: Piano Concerto No.3 in C minor, Op.37 [Piano: Mao Fujita]

- |                  |                            |
|------------------|----------------------------|
| 第1楽章:アレグロ・コン・ブリオ | 1st Mov.: Allegro con brio |
| 第2楽章:ラルゴ         | 2nd Mov.: Largo            |
| 第3楽章:ロンド、アレグロ    | 3rd Mov.: Rondo. Allegro   |



### ベルリオーズ:幻想交響曲 Op.14

H. Berlioz: Symphonie Fantastique, Op.14

- |              |                                      |
|--------------|--------------------------------------|
| 第1楽章:夢、情熱    | 1st Mov.: Rêveries. Passions         |
| 第2楽章:舞踏会     | 2nd Mov.: Un bal                     |
| 第3楽章:野の風景    | 3rd Mov.: Scène aux champs           |
| 第4楽章:断頭台への行進 | 4th Mov.: Marche au supplice         |
| 第5楽章:魔女の夜会の夢 | 5th Mov.: Songe d'une nuit du Sabbat |

## 5.28 [火] 19:00 東京 サントリーホール

May 28 Tue. 19:00 Tokyo Suntory Hall

### ドビュッシー:牧神の午後への前奏曲

C. Debussy: Prélude à L'après-midi d'un faune

### ラヴェル:ピアノ協奏曲ト長調 [ピアノ:藤田真央]

M. Ravel: Piano Concerto in G major [Piano: Mao Fujita]

- |                 |                        |
|-----------------|------------------------|
| 第1楽章:アレグラメンテ    | 1st Mov.: Allegramente |
| 第2楽章:アダージョ・アッサイ | 2nd Mov.: Adagio assai |
| 第3楽章:プレスト       | 3rd Mov.: Presto       |



### サン＝サーンス:交響曲第3番 ハ短調 Op.78, R.176「オルガン付」 [オルガン:室住素子]

C. Saint-Saëns: Symphony No.3 in C minor, Op.78, R.176 "Organ" [Organ: Motoko Murozumi]

- |                                     |  |
|-------------------------------------|--|
| 第1楽章:アダージョ～アレグロ・モデラート～<br>ポーク・アダージョ | 1st Mov.: Adagio – Allegro moderato –<br>Poco Adagio |
| 第2楽章:アレグロ・モデラート～<br>マエストロ～アレグロ      | 2nd Mov.: Allegro moderato –<br>Maestoso – Allegro   |

## 5.31 [金] 18:30 京都 ロームシアター京都 メインホール

May 31 Fri. 18:30 Kyoto ROHM Theatre Kyoto Main Hall

### ドビュッシー:牧神の午後への前奏曲

C. Debussy: Prélude à L'après-midi d'un faune

### ラヴェル:ピアノ協奏曲ト長調 [ピアノ:藤田真央]

M. Ravel: Piano Concerto in G major [Piano: Mao Fujita]

- |                 |                        |
|-----------------|------------------------|
| 第1楽章:アレグラメンテ    | 1st Mov.: Allegramente |
| 第2楽章:アダージョ・アッサイ | 2nd Mov.: Adagio assai |
| 第3楽章:プレスト       | 3rd Mov.: Presto       |



### サン＝サーンス:交響曲第3番 ハ短調 Op.78, R.176「オルガン付」 [オルガン:室住素子]

C. Saint-Saëns: Symphony No.3 in C minor, Op.78, R.176 "Organ" [Organ: Motoko Murozumi]

- |                                     |  |
|-------------------------------------|--|
| 第1楽章:アダージョ～アレグロ・モデラート～<br>ポーク・アダージョ | 1st Mov.: Adagio – Allegro moderato –<br>Poco Adagio |
| 第2楽章:アレグロ・モデラート～<br>マエストロ～アレグロ      | 2nd Mov.: Allegro moderato –<br>Maestoso – Allegro   |

主催:公益財団法人 ロームミュージックファンデーション/ジャパン・アーツ/朝日新聞社 (東京公演)

特別協賛: **ローム株式会社**

#### 【RMF & 山田和樹 グローバル プロジェクト】

公益財団法人 ローム ミュージック ファンデーションと山田和樹が立ち上げたプロジェクトで、日本だけでなくグローバルに活動を展開し、日本の音楽家が更に世界中で活躍する未来を作ることを目指しています。モンテカルロ・フィルハーモニー管弦楽団日本公演では、このプロジェクトの一環として日本人の演奏家数名が現地リハーサルを含め同団のメンバーとして参加するとともに、公募により選出したアシスタント指揮者が本公演に帯同します。

#### 山田和樹指揮モンテカルロ・フィルハーモニー管弦楽団 2024日本公演

- 5月25日(日) 西宮 兵庫県立芸術文化センター 主催:ABCテレビ、兵庫県、兵庫県立芸術文化センター ★
  - 5月26日(月) 館山 千葉県南総文化ホール 主催:(公財)千葉県文化振興財団(千葉県南総文化ホール) ★
  - 5月27日(火) 東京 サントリーホール 主催:(公財)ローム ミュージック ファンデーション / ジャパン・アーツ / 朝日新聞社 ★
  - 5月28日(水) 東京 サントリーホール 主催:(公財)ローム ミュージック ファンデーション / ジャパン・アーツ / 朝日新聞社 ★◆
  - 5月30日(金) 名古屋 愛知県芸術劇場コンサートホール 主催:CBCテレビ ★
  - 5月31日(土) 京都 ロームシアター京都メインホール 主催:(公財)ローム ミュージック ファンデーション / ジャパン・アーツ ★◆
  - 6月1日(日) 横浜 横浜みなとみらいホール 主催:神奈川芸術協会 ★◆
- ★藤田真央 ◆室住素子

## 山田和樹 (指揮 / モンテカルロ・フィルハーモニー管弦楽団 芸術監督兼音楽監督)

Kazuki Yamada, Conductor  
Artistic & Musical Director of Monte-Carlo Philharmonic Orchestra

2009年第51回ブザンソン国際指揮者コンクールで優勝。ほどなくBBC交響楽団を指揮してヨーロッパ・デビュー。同年、ミシェル・ブラッソンの代役でパリ管弦楽団を指揮して以来、破竹の勢いで活躍の場を広げている。2012～18年スイス・ロマンド管弦楽団の首席客演指揮者、2016/17シーズンからモンテカルロ・フィルハーモニー管弦楽団芸術監督兼音楽監督、2024年5月からバーミンガム市交響楽団の音楽監督に就任。日本では、東京混声合唱団音楽監督兼理事長、学生時代に創設した横浜シンフォニエッタの音楽監督として活動、2026年4月より東京芸術劇場の芸術監督(音楽部門)に就任予定。

2023年はバーミンガム市交響楽団とのBBCプロムス、ボストン交響楽団とのタングルウッド音楽祭でのデビュー、そして秋にはバーミンガム市交響楽団とのドイツ、スイスツアーを、2024年春にはヨーロッパ各地でコンサートを行う。また、サンタ・チェチーリア国立アカデミー管弦楽団、ボストン交響楽団、トゥールーズ・キャピトル国立管弦楽団、フランス国立管弦楽団への定期的な客演、ベルリン・ドイツ交響楽団、オスロ・フィルハーモニー管弦楽団、スペイン国立管弦楽団、シカゴ交響楽団にデビュー。2023年6月にはバーミンガム市交響楽団との日本ツアーも行った。2025年6月には、ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団にデビューを予定している。

エマニュエル・アックス、レイフ・オヴェ・アンズネス、チョンソンジン、イザベル・ファウスト、マルティン・ヘルムヒェン、今井信子、アルトゥース&ルーカス・ユッセン、アレクサンドル・カントロフ、エフゲニー・キーシン、マリア・ジョアン・ピリス、バイバ・スクリデ、ファジル・サイ、アラベラ・シュタインバッハー、ジャン＝イヴ・ティボーデ、クリスチャン・ツィメルマン、フランク・ペーター・ツィンマーマンなどのソリストと共演。

教育活動にも熱心で、小澤征爾スイス国際アカデミーに毎年ゲスト・アーティストとして招かれている。また、バーミンガム市交響楽団のアウトリーチ・プログラムにも力を入れている。

東京藝術大学指揮科で松尾葉子、小林研一郎の両氏に師事。ローム ミュージック ファンデーション音楽在外研究生として渡欧。2022年にはモナコ公国からシュバリエ文化功労勲章を受章した。

Kazuki Yamada



## モンテカルロ・フィルハーモニー管弦楽団

Monte-Carlo Philharmonic Orchestra

モンテカルロ・フィルハーモニー管弦楽団は、1856年に「新外国人管弦楽団」としてオーケストラが結成され、1958年には「モンテカルロ国立オペラ管弦楽団」と改称。1980年に「モンテカルロ・フィルハーモニー管弦楽団」が正式な名称となり、それ以来、音楽界で国際的にも重要な地位を占めている。

その伝統と現代性を融合させる力により、重要な交響曲作品や現代音楽作品の演奏、オペラやダンスの分野においても主導的な役割を果たしている。19世紀末以来、モンテカルロでは数え切れないほどの「世界初演」が行われ、マスネ、プッチーニ、ラヴェル、マスカーニ、フォーレ、フランク、オネゲル、イベール、ラロ、ミヨー、プーランク、サティなどの偉大な作曲家たちが、モンテカルロ・フィルを自作の演奏における理想的な楽団と認めている。

モンテカルロ・フィルハーモニー管弦楽団の歴史は、ヴィクトール・デ・サバタ、ルイ・フレモー、イーゴリ・マルケヴィチ、ロヴロ・フォン・マタチッチ、ジャンルイジ・ジェルメッティ、マレク・ヤノフスキ、ヤコヴ・クライツベルク、そして2016年から現在まで音楽監督を務める、山田和樹といった偉大な指揮者や音楽監督によって彩られてきた。トスカニーニ、フルトヴェングラー、R.シュトラウス、ワルター、エーリッヒ・クライバー、クリュイタンス、シューリヒト、ミュンシュ、バルビローリ、クーベリック、セル、バーンスタイン、ジュリーニ、プレートル、コンドラシンなどの偉大な指揮者たちがその指揮台に上がっている。

またエクサンプロヴァンス、オランジュ、プラハ、ラインガウ、ラ・ロック＝ダンテロン、バート・キッシンゲン、ドレスデン、モントルーなどの音楽祭から定期的に招かれているほか、オーストリア、ドイツ、ベルギー、中国、韓国、スペイン、米国、英国、イタリア、日本、スイスなどへの多くの海外ツアーを行っている。

2010年秋、モンテカルロ・フィルハーモニー管弦楽団は「OPMCクラシックス」レーベルを立ち上げた。このレーベルのもとで多くの作品が録音され、音楽専門誌から数々の賞を受賞している。

モンテカルロ・フィルハーモニー管弦楽団の総裁はハノーファー皇太子妃が務めており、モナコ大公アルベール2世の支援と激励を受けている。またモナコ公国政府および、ソシエテ・デ・バン・ド・メール、フィルハーモニック・オーケストラ連盟友の会のサポートを受けている。



©Sasha Gusev OPMC

Monte-Carlo Philharmonic Orchestra



## 藤田真央 (ピアノ)

Mao Fujita, Piano

2017年、弱冠18歳で第27回クララ・ハスキル国際ピアノ・コンクール優勝。併せて「青年批評家賞」「聴衆賞」「現代曲賞」の特別賞を受賞。

2019年チャイコフスキー国際コンクールで第2位を受賞し、審査員や聴衆から熱狂的に支持され世界の注目を集めた。

自然体で奏でられる、繊細かつヴィルトゥオーゾを持ち合わせた唯一無二の美しい音色が高く評価され、次々と世界の舞台に招かれる。ルツェルン音楽祭、ヴェルビエ音楽祭、エディンバラ国際音楽祭、ラ・ロック＝ダンテロン国際ピアノ音楽祭、ツィナングリ音楽祭など主要な音楽祭へ定期的に出演。2023年1月、カーネギー・ホールにてホール主催のソロ・リサイタルデビューを果たした。同年5月、音楽監督リカルド・シャイー率いるミラノ・スカラ座フィルハーモニー管弦楽団とのヨーロッパツアーを成功させる。同年7月、ウイグモア・ホールにて5日間にわたるモーツァルト：ピアノ・ソナタ全曲ツクルスを開催。さらに同月、ヴァイオリニスト、マルク・ブシュコフとのベートーヴェン：ピアノとヴァイオリンのためのソナタ全曲ツクルスをヴェルビエ音楽祭、テルアビブ、ツィナングリにてそれぞれ完遂させた。2023/24シーズンには、バイエルン放送交響楽団、ウィーン交響楽団、ロサンゼルス・フィルハーモニック、チェコ・フィルハーモニー管弦楽団、フランクフルト放送交響楽団にデビュー。最近および今後共演のオーケストラは、ロイヤル・コンセルトヘボウ管弦楽団、クリーヴランド管弦楽団、ライブツィヒ・ゲヴァントハウス管弦楽団、ミュンヘン・フィルハーモニー管弦楽団、ミラノ・スカラ座フィルハーモニー管弦楽団など。クリストフ・エッシェンバッハ、リカルド・シャイー、アンドリス・ネルソンス、マレク・ヤノフスキ、ラハフ・シャニ、ヴァシリー・ペトレンコといった指揮者たちからの信頼も厚い。

2021年11月、ソニークラシカル・インターナショナルと専属レコーディングのマルチアルバム契約を締結し、2022年10月には「モーツァルト：ピアノ・ソナタ全曲集」をリリース。このアルバムは、ドイツのクラシック音楽界で最も権威のある賞のひとつ、オーパス・クラシック賞2023にてYoung Artist of the Yearに選出された。

2019-2020年度ローム ミュージック ファンデーション奨学生。

Mao Fujita



## 室住素子 (オルガン)

Motoko Murozumi, Organ

東京大学文学部美学芸術学科在学中、女声合唱団を立ち上げ、演奏会を行った教会でパイプオルガンと出会った。その音色に魅了され、オルガンを始めた。東京藝術大学音楽学部器楽科(オルガン専攻)に入学、秋元道雄、アンリエット・ピュイグ＝ロジェ、ジグモント・サットマリー各氏に師事。安宅賞受賞。同大学院修士課程修了後、1989～97年、水戸芸術館音楽部門主任学芸員を務めた。「市民のためのオルガン講座」を企画し、吉田秀和・水戸芸術館館長賞受賞。その後、活動の場を東京都交響楽団、新日本フィルハーモニー交響楽団、NHK交響楽団、読売日本交響楽団、サイトウ・キネン・オーケストラ、札幌交響楽団などへ広げた。

2008年ラドミル・エリシュカ指揮大阪フィルハーモニー交響楽団と「ヤナーチェク：グラゴル・ミサ」、2009年クリスティアン・アルミンク指揮新日本フィルハーモニー交響楽団と「シュミット：7つの封印を有する書」などでオルガンソロを務めた。2010年には、小澤征爾指揮サイトウ・キネン・オーケストラと「ブリテン：戦争レクイエム」をカーネギー・ホールにて演奏。また、2017年には山田和樹指揮横浜シンフォニエッタと共に、モスクワ音楽院大ホールにてロストロポーヴィチ音楽祭に参加した。

「サン＝サーンス：交響曲第3番」は、ジャン・フルネの元で研鑽を積み、「オーケストラと対話の出来るオルガニスト」との評価を得、以後ガリー・ベルティーニ、ヤクブ・フルシャ、大野和士、秋山和慶、山田和樹はじめ多くのマエストロと、60回を超える公演を成功させている。

日本オルガニスト協会会員、小澤征爾音楽塾講師(2006年)、水戸芸術館オルガン講座講師。

Motoko Murozumi



5月27日

■ ベートーヴェン:序曲「コリオラン」 Op.62 ■

ベートーヴェン(1770-1827)がハインリヒ・コリンの戯曲「コリオラン」のために1807年に書いた演奏会用序曲である。ローマから追放されたために敵軍と結んでローマを逆襲しようとした將軍コリオラスが、妻や母の哀願でローマ攻略を断念、両軍を裏切る形となって悲劇的な最期を迎えるという物語をソナタ形式のうちに表現している。

■ ベートーヴェン:ピアノ協奏曲第3番 ハ短調 Op.37 ■

ベートーヴェンが1803年に完成させたこの協奏曲は、構想の大きさ、綿密な主題労作による劇的な展開法、独奏と管弦楽のシンフォニックな扱いなどの点で、従来の古典派の協奏曲を超える広がりを持っている。

第1楽章(アレグロ・コン・ブリオ)は協奏風ソナタ形式をとり、内なる暗い情熱を感じさせる第1主題と優美な第2主題によってダイナミックな展開が繰り返される。第2楽章(ラルゴ)は深い叙情を湛えた緩徐楽章。第3楽章(ロンド、アレグロ)はきびきびした主題を持つロンドで、途中のフガートによる展開など、ソナタ形式の論理が応用されている。テンポを速めたコーダは長調に転じて明るく締め括られる。

■ ベルリオーズ:幻想交響曲 Op.14 ■

フランス・ロマン主義の作曲家ベルリオーズ(1803-69)が1830年に完成させたこの作品は、自分の失恋経験を脚色して描くという彼の革新的なロマン主義精神を如実に示した交響曲である。ベルリオーズは1827年にパリを訪れたイギリスの女優スミソンに惚れ込み、自分の熱い想いを伝えたが、当時まだ駆け出しの作曲家だった彼を花形女優は相手にもしなかった。その失恋の思いを彼は標題交響曲という形で表現したのである。標題は「病的な感性和激しい想像力を持つ若い芸術家が失恋して阿片自殺を図るが死に至らず、奇怪で幻想的な夢を見る」というもので、それを表すために全曲にわたって恋人を示す特定の旋律主題(固定楽想)が用いられている。なお作品は初演後に改訂され、その改訂版初演をスミソンが聴いたことがきっかけで結局2人は1833年に結ばれることとなる。

第1楽章「夢、情熱」は夢想的な序奏の後、恋人を表す固定楽想を第1主題とする主部が情熱的に発展する。第2楽章「舞踏会」は舞踏会を描写したワルツ楽章。第3楽章「野の風景」は牧笛の対話(コーラングレと舞台裏のオーボエ)に始まる田園を舞台とした穏やかな緩徐楽章だが、やがて固定楽想が出現し恋の不安が再燃する。第4楽章「断頭台への行進」は夢の中で恋人を殺した主人公が断頭台へ引かれる情景を描く行進曲で、最後に刃の落とされる瞬間に恋人の幻が現れる様がクラリネットの固定楽想で示される。第5楽章「魔女の夜会の夢」は不気味な魔女たちの夜会の描写で、恋人は醜く変身し(固定楽想の変形)、鐘の音やグレゴリオ聖歌「怒りの日」の旋律も織り込んで高潮する。

5月28日・5月31日

■ ドビュッシー:牧神の午後への前奏曲 ■

フランス近代の音楽に革新をもたらしたドビュッシー(1862-1915)は、しばしば絵画の印象主義や文学の象徴主義と関連付けられている。マラルメの詩に基づく初期の「牧神の午後への前奏曲」はそのような彼の作風を打ち出した初期の管弦楽曲で、昼寝から覚めた牧神が夢うつつにニンフや美神ヴェヌスを抱く幻想に捉われるが、再びけだるいまどろみに落ちるというイメージが、フルート独奏を中心にしたデリケートな響きの変化のうちに描かれている。

■ ラヴェル:ピアノ協奏曲ト長調 ■

近代フランスの作曲家ラヴェル(1875-1937)は古典的なスタイルを重視する一方、斬新な響きを求めてフランス近代音楽に新しい展開をもたらした。後期にはジャズの語法も取り入れており、1929-31年に書かれたこのピアノ協奏曲にはそうした後期の特色が示されている。急緩急の伝統的な3楽章構成のうちに、ジャズの語法、躍動的なリズム、モダンな響きを結び合わせたセンス溢れる作品で、鮮やかな技巧や色彩を振りまくピアノとともに、オーケストラの様々な楽器も活躍する軽妙洒落な作品となっている。鞭の一打ちに始まる第1楽章(アレグラメンテ)は快活さの中にも気分が様々に移り変わる。ハーブのカデンツァ風の一節にも注目。緩やかな第2楽章(アダージョ・アッサイ)はピアノが夢見のような叙情的な歌を紡ぐ。第3楽章(プレスト)はめくるめくばかりの急速な音の動きで運ばれる短くも華麗なフィナーレだ。

■ サン＝サーンス:交響曲第3番 ハ短調 Op.78, R.176「オルガン付」 ■

フランスの器楽復興に大きな役割を果たしたサン＝サーンス(1835-1921)は番号付きの交響曲を3曲残しているが、その中でもこの第3番は華麗さのうちに深い情感を湛えた傑作である。ロンドンのフィルハーモニック協会からの委嘱で書かれ1886年に完成、同年5月19日にロンドンで作曲者の指揮で初演された。作品の第一の特徴はやはりオルガンを導入している点であり、名オルガン奏者だったサン＝サーンスならではの効果的な用法が生かされている。第二の特徴は当時のフランスの器楽に一般的な手法であった循環形式の採用で、第1楽章主部に入っすぐ現れる主題(グレゴリオ聖歌の「怒りの日」に関連するもの)が全体の循環主題として全曲を統一する役割を果たす。第三の特徴は2楽章構成をとっていることだ。とはいってもその各々が2部分に分かれ、全体としては伝統的な4楽章構成のような形になっている。

第1楽章の前半(アダージョ～アレグロ・モデラート)は序奏付きのソナタ形式をとり、落ち着きのない劇的な発展を繰り返す。後半(ポーコ・アダージョ)はオルガンのコラル風主題を中心とする情感に満ちた緩徐部分。第2楽章の前半(アレグロ・モデラート)では、スケルツォに当たる闘争的な部分とピアノが活躍する華麗なプレスト部分が交替する。続く後半(マエストーソ～アレグロ)はオルガンの壮麗な響きで始まる長調のフィナーレで、循環主題を効果的に用いて圧倒的な盛り上がり築く。

# Orchestre Philharmonique de Monte-Carlo

Kazuki Yamada, *Directeur artistique et musical*

## Violon 1

David Lefevre, *Violon solo supersoliste*  
Liza Kerob, *Violon solo supersoliste*  
Sibylle Cornaton, *1er violon solo*  
Ilyoung Chae  
Diana Mykhalevych  
Mitchell Huang  
Isabelle Josso  
Jae Eun Lee  
Milena Legourska-Casha  
Adela Urcan  
Zhang Zhang  
Elyssa Gravelle  
Anne-Cécile Sshmit ép. Lecaille  
Julien Fourrier  
Radu Bitica

★ Rennosuke Fukuda

## Violon 2

Peter Szűts  
Nicolas Delclaud  
Laetitia Abraham  
Gian-Battista Ermacora  
Frédéric Gheorghiu  
Katalin Lukacs ep.Szuts  
Raluca Marinescu  
Andriy Ostapchuk  
Sofija Radic  
Nicolas Slusznis  
Eric Thoreux  
Hubert Touzery  
Luca Marzolla

★ Mizuki Chiba

## Alto

François Méreaux  
Federico Andres Hood  
François Duchesne  
Thomas Bouzy  
Richard Chauvel  
Raphaël Chazal  
Tristan Dely  
Charles Lockie  
Ruggero Mastrolorenzi  
Sofia Timofeeva  
Mireille Wojciechowski  
Ying Xiong

## Violoncelle

Thierry Amadi  
Delphine Perrone  
Alexandre Fougeroux  
Patrick Bautz  
Thomas Ducloy  
Florence Leblond  
Thibault Leroy

Bruno Posadas  
Florence Riquet  
Caroline Roeland

## Contrebasse

Matthias Bensmana  
Tarik Bahous  
Jenny Boulanger  
Dorian Marcel  
Sylvain Rastoul  
Mariana Vouytcheva  
Benjamin Thabuy  
Elmina Perrin

## Flûte

Anne Maugue  
Raphaëlle Truchot Barraya  
Delphine Hueber

## Piccolo

Malcy Gouget

## Hautbois

Matthieu Petitjean  
Matthieu Bloch  
Martin Lefevre

## Cor anglais

Mathilde Rampelberg

## Clarinete

Marie-B. Barriere-Bilote  
Véronique Audard  
Diana Teixeira-Sampaio  
Laurent Boulanger

## Basson

Franck Lavogez  
Arthur Menrath  
Michel Mugot

## Contrebasson

Frédéric Chasline

## Cor

Patrick Peignier  
Andrea Cesari  
Didier Favre  
David Pauvert  
Laurent Beth  
Bertrand Raquet

## Trompette

Matthias Persson  
Gérald Rolland  
Samuel Tupin  
Rémy Labarthe

## Trombone

Jean-Yves Monier  
Vincent Lepape  
Gilles Gonneau

## Trombone basse

Ludovic Milhiet

## Tuba

Florian Wielgosik  
Kosuke Shiba

## Timbales

Julien Bourgeois  
Antoine Lardeau

## Percussions

Mathieu Draux  
Noé Ferro  
Benoit Pierron  
Gianny Pizzolato

## Harpe

Sophia Steckeler  
Cécile Maudire

## Piano

Maki Miura Belkin  
★ Mayu Sakaki

## Délégué artistique

Didier Decottignies

## Administrateur

Sylvain Charnay

## Régisseur général / Tour Manager

Frédéric Vitteaud

## Régisseur adjoint

Jean-Marc Therond

## Régisseur technique

Patrick Pastor

## Techniciens de scene

Patrice Bordas / Jean-Marie Pastor

## Medecin

Pascal Herbin

## Assistant Conductor

★ Riku Okamoto

★: supported by  
RMF & Kazuki Yamada Global Project



【アーティストサポート】へ、多くの皆様からお気持ちをお寄せいただきましたことに、心より感謝申し上げます。

寄せられたご支援は、アーティストの様々な活動に幅広く使わせていただいております。「人のいるところには夢がある」創業48年来のジャパン・アーツの理念です。

どんな時代においても、音楽・芸術から生まれる感動は、人々に夢・希望・生きる力を与えてくれます。

これまでの活動レポートは、ジャパン・アーツのホームページに掲載しておりますので、どうぞご覧ください。

今年度も変わらぬご支援をどうぞよろしくお願い申し上げます。



アーティストサポートの詳細はこちらをご覧ください。

## 2024年度ご支援いただいた皆様

### <2024年度 年間サポート>

K.O 片山由美子 H.K 栗田美知子 新貝康司 M.S M.T A.D  
 トゥルーラブ真知子 トゥルーラブ真凛 S.N 平山美由紀  
 藤野盾臣 松尾芳樹 真野美千代 J.M

(匿名希望 6名)

### <2024年 ウィーン少年合唱団 オフタイム・サポート>

真野美千代

(匿名希望 4名)

### <2024年 ウィーン少年合唱団 ツアー・サポート>

平山美由紀 真野美千代 村瀬治男

(匿名希望 3名)

2024年5月1日現在 敬称略

ご支援についての詳しい内容は、どうぞ下記へお問い合わせください。

株式会社ジャパン・アーツ アーティストサポート係 Tel.03-3499-7720  
 (平日11:00~17:00 年末年始を除く)

## ローム ミュージック ファンデーションの事業について

### 音楽文化の発展



#### 奨学援助

音楽を学ぶ学生に対して奨学援助を行い、若い人たちの学ぶ環境の充実に取り組んでいます。



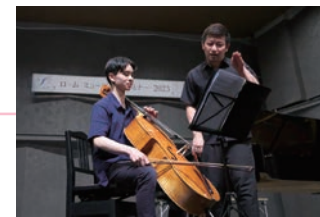
#### ローム ミュージック ファンデーション スカラシップコンサート

現役または奨学金給付終了直後の奨学生によるコンサートを開催しています。



#### 京都・国際音楽学生フェスティバル

世界を代表する音楽学校から音楽学生を京都に招いてフェスティバルを開催しています。



#### ローム ミュージック セミナー

ローム ミュージック フレンズが講師となり世界を舞台に活躍する音楽家を育成するセミナーです。

### 音楽文化の普及



#### ローム ミュージック フェスティバル

ローム ミュージック フレンズが一堂に会す豪華フェスティバル。ローム・スクエアでは、関西の中学・高校の吹奏楽部によるコンサートも行っています。



#### ローム ミュージック チャンネル「Kyoto Classics」

京都の名所からローム ミュージック フレンズが音楽をお届けするコンサートを映像配信しています。

その他の事業や詳細については、ローム ミュージック ファンデーション公式WEBサイトをご覧ください。



<https://www.rmfm.or.jp/jp/>

写真クレジット：\*…撮影：大澤 正、他…撮影：佐々木卓男